

新しい幸せのカタチ

～環境問題の先にある、私たちの未来に向かって～

環境ジャーナリスト 幸せ経済社会研究所 所長 枝廣淳子

昨年は、価値観について、改めて考えさせられることの多い1年でした。

今回、環境ジャーナリストであり、幸せ経済社会研究所所長の枝廣淳子さんに、価値観の変化について執筆していただきました。

2011年3月11日の大震災以降、日本の社会に「本当に大事なことは何だろう?」という問い直しが広がっているように思います。

政府や経済学者は、いまだに「GDP (Gross Domestic Product: 国内総生産)をどう増やすか」に必死ですが、GDPを増やすことは本当にそんなに大事なことになるのでしょうか? 私たちはGDPや経済成長のために生きているわけではありません。幸せになりたいと思って生きているのですよね? GDPが増えることがそのために必須なののでしょうか?—3.11以降、多くの人たち、特に若い人たちが自分たちの価値観や生き方を見直し始めているようです。

実は3.11の前からすでに、日本ではひそやかな移行が始まっていました。経済界や産業界ではそれを、「買わない消費者が増えて困る」ととらえているようですが、単に不景気で消費が減っているというレベルではなく、もっと大きな価値観やライフスタイルの変革(革命?)が今まさにここ日本で起こっていると思うのです。このひたひたと広がりつつある“静かなる革命”を、私は「3脱」と名付けています。

|| 3脱 ||

3つの「脱」の1つめは、「暮らしの脱所有化」です。これまでは、モノを「持つ」ことで暮らしを成り立たせてきましたが、今では「別に自分で所有しなくてもいい」と考える人が増えています。自動車ディーラーに勤める友人が嘆いていましたが、今若い人は車を買いません。「車を持っていることはカッコ悪い」と言う人までいます。車を使いたかったら、カーシェアリングだってレンタカーだっていいし、相乗りしてもいい。

本を買っても読んだらリサイクルショップなどに持って行ったり友達と交換したり。よほどのもの以外は、手元に置いておく必要はない、みんなで共有したり、貸し借りしてすむものはそれでいいじゃない?と思う人が多い。CDやDVDのレンタルもそうですし、最近はシェアハウスといって、家も共有する人たちが増えています。

2つめの「脱」は「幸せの脱物質化」です。モノを持つことやモノを買うことが幸せだと長い間信じられていました。だから、「ブランド」や「ショッピング」が幸せの構成要

素であり、「〇〇のバッグを持っている私」が幸せの象徴でした。

もちろん、今でもそう思っている人も少なくないでしょうけれど、そういった「モノ」ではなくて、「人と人とのつながり」や「自然との触れ合い」などに幸せを感じるという人も増えています。

私も呼びかけ人代表のひとりである「100万人のキャンドルナイト」もそうです。「2時間電気を消してロウソクの灯りでゆっくり過ごそうよ」という、それだけの呼びかけに全国で数百万人が参加します。農業ブームも、山ガールが増えているというのも同じく、人や自然とのつながりに幸せを見いだす人が増えている証拠ではないかと思うのです。

3つめの「脱」は、「人生の脱貨幣化」。これまでの一般的な人生モデルは、「自分の時間を会社に差し出し、対価としてお金をもらい、それで人生を成り立たせる」というものでした。自分の時間を最大限会社に差し出すことになる場合も多く、会社に勤めている間は、自分の人生はないかのように働き、「定年退職したら自分の人生が始まるんだ」と言っている人もいます。

しかし、そんなふうに自分の時間とお金を交換しなくてもいいんじゃない?と考える人が増えています。お金がないと食べ物を買えなくて困るというなら、できる部分だけ

でも自分で食べ物を作ればいいじゃない?という新しい考え方です。

|| 半農半X ||

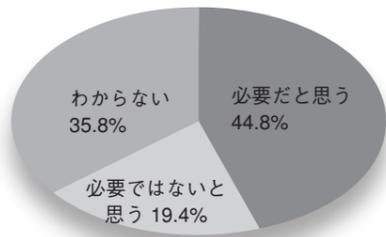
今、日本で「半農半X」というライフスタイルが広がっていることをご存じですか? 自分の時間の半分を使って農業をします。売るための農業ではなくて、自分と家族の食べ物を作ればいいので、半分くらいの時間ですみます。そして、残りの時間は自分のやるべきこと・やりたいこと=「X」(使命)に費やし、そこからの現金収入で必要なものを買えばいい。お金の縛られずに、自分や家族の時間や幸せを大事にするという生き方です。塩見直紀さんが実践・提唱し始めた半農半Xのライフスタイルは日本中に広がっています。私のまわりにも、「半農半作家」「半農半NGOスタッフ」「半農半歌手」などの人たちがいます。

ところが、このように私たちの価値観やライフスタイルが大きく変わりつつあるのに、経済や社会の仕組みは20世紀のままです。

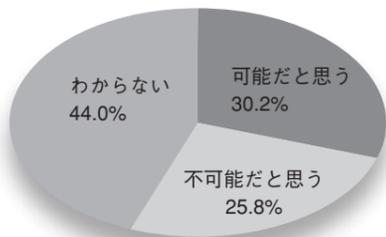
たとえば、社会の進歩を何で測るのか?—いまだにGDP成長率を使っていますよね。GDPって、何を測っているかご存じですか? 何であっても、モノやサービスが売れば(お金が動けば)計上されるのです。そのモノや

3ページへ続く

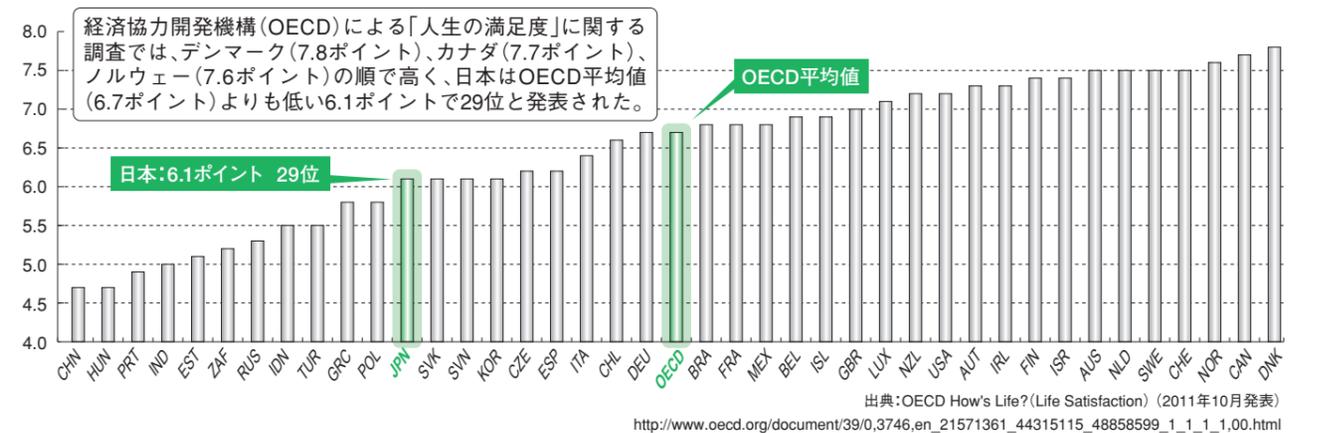
● 質問 ●
あなたは、日本や世界のGDPが伸び続けることは必要だと思っていますか?



● 質問 ●
あなたは、日本や世界のGDPが伸び続けることは可能だと思っていますか?



出典: 幸せ経済社会研究所「GDPに関する国民の意識調査」(2011年1月実施)より





特集 **新しい幸せのカタチ**
～環境問題の先にある、私たちの未来に向かって～

サービスが私たちや社会の幸せにつながっていてもつながってなくても関係ないのです。だから、交通事故や犯罪、環境破壊などが起これば起こるほどGDPは増えます。

そんなことでGDPが増えてうれしいわけではありません。GDPは単に経済の中で動いているお金を測っているだけで、幸せを測る指標ではないのです。それなのに、いまだにGDPを増やし続けることが至上命題であるかのように考えている人たちがいます。この時代にそうすることはますます社会と人々の幸せを損なうということを知っているのでしょうか。

|| **本当の意味での幸せや社会の進歩とは** ||

でも、「それはおかしい。本当の意味での幸せや社会の進歩を測ろうよ」という動きもあります。たとえば、昨年11月に国王夫妻が来日したアジアの小国ブータンが面白いことを主唱・実践しています。1970年代から、「ブータンはGNP (Gross National Product: 国民総生産) ではなくて、GNH (Gross National Happiness: 国民総幸福) をめざす」として、どうやってGNHを測り、政策に活かしていくかの研究と実践を進めているのです。GNHの指標には、「人々がどのように時間を使っているか」「方言など文化的な多様性がどのくらい守られているか」「地域社会がどれくらい生き生きしているか」など、経済成長にはつながらないかもしれないけれど、人々や社会の幸せの土台となるものを測っているなあ!と思えるものがたくさん入っています。

私たちもそろそろ、お仕着せの指標ではなく、自分たち

が測りたいものを測る指標を作っていきますか? 自立型の地域をめざしているなら、域内のエネルギーや食糧自給率を測るのもよいでしょう。他人と比較せず、自分らしく生きたいと思っているなら、「自分がどのくらい納得のいく時間の使い方をしているか」を測ってみてもよいかもしれません。

時代の変化とともに、価値観やライフスタイルが変わっていく。それによって、社会の評価尺度も変わっていく。尺度が変わることで、さらに多くの人々の価値観やライフスタイルが変わっていく——本当に面白い、そして、一人一人が望ましい方向に社会を変えていける、大きなチャンス時代に生きているなあ!とわくわくしています。



Profile
枝廣 淳子さん

環境ジャーナリスト、翻訳家。東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。

「不都合な真実」(アル・ゴア著)の翻訳をはじめ、環境問題に関する講演、執筆活動等を通じて「伝えること、つなげること」でうねりを広げつつ、変化を創り出すしくみを研究。温暖化や生物多様性、資源の枯渇や排出物のオーバーフロー等、増え続ける問題に対し、「そもそも経済成長至上主義を終えない限り、これらの問題は解決しないのではないか」との思いから、2011年に「幸せ経済社会研究所」(<http://www.ishes.org/>)を設立。持続可能性を土台に、本当の幸せを経済や社会との関わりで学び、考え、対話する研究会を開催している。経済産業省総合資源エネルギー調査会基本問題委員会委員。

団体紹介

このコーナーでは、県内で活躍する女性団体にスポットを当てて、その活動をご紹介します。今回は、地域の女性団体相互の連絡提携を図る「愛知県地域婦人団体連絡協議会」会長 鈴木みどりさんにお話を伺いました。

愛知県地域婦人団体連絡協議会



鈴木みどり会長 **3Rへの取り組み**

3Rとは ★リデュース (REDUCE) →ごみ自体を減らす ★リユース (REUSE) →何度も使う ★リサイクル (RECYCLE) →資源に戻して をもじった環境用語です。
今年の夏といえば「節電」が合言葉でした。県地婦連でも「節電おばさんのひやスカーフ」なるエコグッズを開発。頂き物などの保冷材を有効活用してスカーフに包んで首に巻くというもので(柄が可愛く、中身がズレないがウリ)、栄のクリスタル広場で500個を配布、あつという間になくなった人気グッズです。冬には小型使い捨てカイロに入れ替えて使うこともできます。



配布エコグッズ
「節電おばさんのひやスカーフ」

自分の家族を守ること

国際交流で訪れたスウェーデンでは、環境への配慮は当然という生活習慣を知りました。また、国内の浄水場見学では、自分が出した少量の排水を真水に戻すために、大量の水が必要なことを学びました。環境保全は生活に直結した課題で、家事全般に関わる比重の大きい女性が、積極的に取り組んでいくことが大切だと思います。そして、活動を継続することで、今現在の家族、その先の子どもの世代を守ることになると考えています。「会長に就任してまだ半年ほどなので」と、はにかんで言われる鈴木会長ですが、その瞳には任期を後悔なく務める、という強い意志がうかがえる取材でした。

問い合わせ先 **ウィルあいち内 愛知県地域婦人団体連絡協議会** 電話052-962-2618

参画トピックス

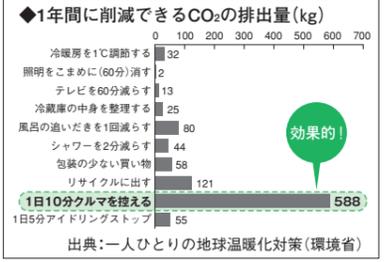
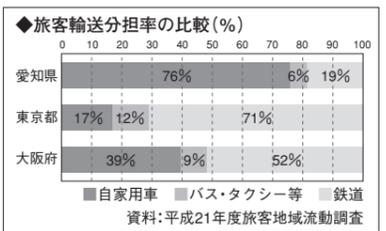
今回の参画トピックスは、愛知県交通対策課から環境啓発情報です。地球にやさしい環境づくりのために、交通ライフスタイル、見直してみませんか?

「エコモビ」ってご存知ですか エコモビ

「エコモビ」は、「エコ モビリティ ライフ」の略で、クルマ(自家用車)と電車、バスなどの公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイルのことです。愛知県は、クルマの保有台数が全国一で、クルマで移動する割合が東京や大阪に比べて大きくなっています。クルマへの過度な依存は、交通事故や地球温暖化などの問題につながります。本県では、こうした問題の解決やお年寄りの移動手段の確保、県民の健康の維持などに向けて、「エコモビ」の推進に取り組んでいます。推進に当たっては、県内の市町村や交通事業者、各種の地域団体、NPOなどからなる「あいちエコモビリティライフ推進協議会」を設立し、それぞれが連携・協力して取組を進めています。

今日からはじめてみませんか 環境にやさしい交通行動

近い距離は自転車や徒歩で移動する、遠くへの移動はできるだけ電車やバスなどを使う、最寄りの駅まではクルマ、そこから電車に乗り換えるパーク&ライドを行う…。「エコモビ」は、それほど難しいことではありません。できることを毎日少しずつ積み重ねることが大きな効果につながります。地球温暖化の原因であるCO₂は、1日10分クルマを控えることで、他のエコ活動の何倍も多く削減することができます。皆さんも、日頃の生活を見直し、お出かけの際は、行き先や目的に応じて、環境にやさしい交通手段を使い分けてみませんか。



知って得するエコモビ実践ガイド
エコモビ 実践 検索

問い合わせ先 **愛知県地域振興部交通対策課** 電話052-954-6125 <http://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/>

図書を紹介

～エコライフの先に～変わる価値観～

スローライフ、ロハスなどの一時的なブームを経て、エコライフは生活に根付いてきています。その先には、どんな社会があるのでしょうか。情報ライブラリーの図書を通して考えてみませんか。



『幸せな未来のつくり方 「エコ」を超えて』 枝廣淳子著(海象社)

「モノを買うより、人とつながるほうが楽しい!」「おカネがすべてじゃないよね?」いま、私たちの価値観が大きく変わりつつある。単なる「エコ」とどまらず、未来を見据えた暮らしや本当の幸せに向けて、日本各地で生まれているさまざまな取り組みを紹介する。

『いよいよローカルの時代 ヘレナさんの「幸せの経済学」』

ヘレナ・ノーバーク=ホッジ、辻信一著(大月書店)



近代化が壊してきたものを熟知した2人の対談。「豊かさの経済」に代わる「幸せの経済」とは?経済をローカル化すること。地産地消など、地に足のついた形での具体的な地域実践がその答えだ。世界中に芽吹く希望が見えてくる。



『あなたの暮らしが世界を変える 持続可能な未来がわかる絵本』

浦本典子イラスト、阿部治・野田研一監修(山と溪谷社)

私たちの暮らしは世界とつながっている。「持続可能な地域社会」「女性と持続可能な開発」ほか11のテーマについてわかりやすく解説。地球で起こっている真実と、そのために今何ができるのかを考える。

ほかにもこんな図書があります。

- | | |
|--|---------------|
| 『幸福立国ブータン 小さな国際国家の大きな挑戦』 | 大橋照枝著 |
| 『エコシフト チャーミングに世界を変える方法』 | マエキタミヤコ著 |
| 『あなたが世界を変える日 12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ』 | セヴァン・カリス=スズキ著 |
| 『エコで豊かになるヒント 持たない、減らす、大事に使う』 | 大津恭子著 |
| 『農家に教わる暮らし術 買わない捨てない自分でつくる』 | 農山漁村文化協会編 |



整理休業のお知らせ

ウィルあいち情報ライブラリーでは、蔵書点検や書架整理を集中的に行うため、次の期間は休業します。期間中は、資料の貸出、予約、図書の貸出延長、視聴覚資料(ビデオ・DVD)の返却、レファレンス(調査)などをご利用いただくことができません。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

平成24年2月8日(水)～14日(火)

この休業にあわせて、通常は図書15日間、視聴覚資料8日間の貸出期限を延長し、次の対象期間に貸出した資料に限り、一律に平成24年2月17日(金)が返却期限となります。

対象期間

図書…1月25日(水)から2月2日(木)までに貸出する図書

視聴覚…2月1日(水)から2月7日(火)までに貸出する資料

休業中、ホームページの蔵書検索は通常どおりご利用いただけます。

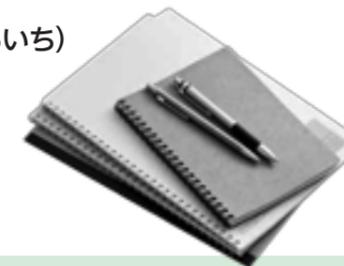
問い合わせ先
ウィルあいち情報ライブラリー
電話 052-962-2510

～後期セミナーのご案内～ (開催場所:ウィルあいち)

*詳細は後期セミナーのパンフレット、財団ホームページをご覧ください。

あいち男女共同参画財団 で検索

*すべてのセミナーに託児がついています。(対象:満1歳半～就学前のお子さん)



明日は我が身! 東海地震が起きる前に 東日本大震災の復興現場から学ぶ女性の視点と参画

講師 田端八重子(もりおか女性センター長)
日時 2月4日(土) 13:30～15:30
受講料 600円
申込締切 1月24日(火) 必着

- こんな方にオススメ
- 東海地震に備えたい方・地域活動を行っている方
 - 自主防災活動で活動している方・これから活動したい方
 - 町内会や自治会に関わっている方
 - 企業の防災担当者

ファミリーリーダーシップを身につけよう! (全2回) ～多様な人材と協力し、携わる人の力を最大限に引き出す力～

講師 刈本香緒莉(株式会社ヒューマンエナジー)
日時 2月18日(土)、19日(日) 10:00～16:30
受講料 5,000円
申込締切 2月1日(水) 必着

- こんな方にオススメ
- 町内会やPTA等の地域組織で活動している方または活動する予定の方
 - スキルアップしたい若手から中堅の社会人

老いは足元から 靴から考える健康 ～上級シューフィッターに学ぶ「足」とは～

講師 永井恵子(NPO法人「WISH」理事長)
日時 2月2日(木) 13:30～16:00
受講料 700円
対象 一般
申込締切 1月20日(金) 必着

転ばぬ先のラストメッセージ。 ～教えます、日本一楽しい遺言書づくり～

講師 佐山和弘(行政書士さやま法務コンサルティング代表)
日時 3月3日(土) 13:30～16:00
受講料 700円
申込締切 2月21日(火) 必着

- こんな方にオススメ
- テーマに関心のある方
 - 還暦、定年を迎えた方またはこれから迎える方

リーダーに必要な資質 (全3回) 女性限定

第1回 日時 1月29日(日) 13:30～15:30
テーマ 映画で学ぶリーダーシップ

第2回 日時 2月5日(日)、12日(日) 10:30～16:30
テーマ コミュニケーションスキルを磨く①・②

受講料 3,500円
申込締切 1月18日(水) 必着

- こんな方にオススメ
- 団体・グループで活動している女性またはこれから活動したい女性

自分らしい働き方を見つけるために (全3回) 女性限定

第1回 日時 2月9日(木) 13:30～15:30
テーマ 就職の現状と仕事の探し方

第2回 日時 2月16日(木) 13:30～15:30
テーマ ①自分に向いている仕事を探す
～カラーセラピーで新たな自分発見!～

第3回 日時 2月23日(木) 13:30～15:30
テーマ ②自分に向いている仕事を探す
～コミュニケーション力UPで就職を勝取る!～

受講料 1,200円
申込締切 1月25日(水) 必着

- こんな方にオススメ
- 再就職をめざす女性

ピーターラビット®の生みの親 ビアトリクス・ポター™の生涯 (全3回)

第1回 日時 3月4日(日) 13:30～15:30
テーマ ポターがどのようにして夢をかたちにしたのか
～ピーターラビットを生んだポターの魔法の生涯～

第2回 日時 3月11日(日) 13:30～15:30
テーマ イギリス19世紀の女性の生き方と現代女性

第3回 日時 3月18日(日) 13:30～15:30
テーマ ビアトリクス・ポターと男女共同参画

受講料 1,800円
対象 一般
申込締切 2月22日(水) 必着

○財団ホームページから申し込みができます。
または、往復はがき、FAX、Eメールで下記申込先へ申し込んでください。

問い合わせ先
財団法人あいち男女共同参画財団 企画協働課
〒461-0016 名古屋市東区上笠杉町1番地
電話(052)962-2512 FAX(052)962-2477
Eメール willkouza@will.pref.aichi.jp
ホームページ http://will.pref.aichi.jp/zaidan/